

名古屋アイスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS
 ~ ローターに輝きを LIGHT UP ROTARY ~
 2014-15 年度国際ロータリー会長 ゲイリー C.K ホアン

例会日:毎週水曜日 13:00~14:00
 例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋
 創 立:2013 年 6 月 5 日
 会 長:荒山 久美 「進化するアイリス」



■ 本日、2周年誕生例会

■ 斉唱 それでこそロータリー

■ 司会 島村恵三 会員

■ 出席者報告 出席者数 23 名 / 会員数 35 名
 出席率 65.71%

前々回(第 91 回)修正出席率は 82.85%(29/35)

■ 本日のゲスト・ビジター紹介

(目録贈呈) 名古屋大学大学院医学研究科小児科教授・医学博士 小島勢二 様

(同) 名古屋大学医学部附属病院小児内科病棟チャイルド・ライフ・スペシャリスト 佐々木美和 様
 2015-2016 ガバナー補佐 名古屋北 RC 藤田義昭 様

特別代表 名古屋北 RC 浦野三男 様

名誉会員 名古屋栄 RC 八神 基 様

■ ニコボックス報告

2015-2016 ガバナー補佐 名古屋北 RC 藤田義明 様

次年度ガバナー訪問よろしくお願ひします。

特別代表 名古屋北 RC 浦野三男 様

6 月 18 日第 3 回創立記念日です。お目出度うございます。益々のご発展をご祈念申し上げます。

名誉会員 名古屋栄 RC 八神 基 様

荒山会長、藤森幹事、一年間お疲れ様でした。また、出番があると思います。期待申し上げます。

荒山久美 会長

アイリス 2 歳になりました、おめでたいです。今年度ラストのゴルフコンペで皆さまからバラの花束をいただき感激しました、ありがとうございました。次年度ガバナー補佐藤田様、ようこそ、お誕生例会へおこしいただきました。

櫻井孝充 副会長

小島先生、佐々木先生、本日はありがとうございます。あじさいの花が似合う季節になりましたが、みなさん、どうか、水分を十二分に取り、お身体ご自愛下さい。感謝。

藤森 淳 幹事

藤田ガバナー補佐、ようこそアイリスへ。先日の会長のゴルフコンペで、ハンディも沢山頂き、荒山会長、加藤晴美さんというメンバーにも恵まれて、優勝することができました。ありがとうございました。

青木恭子 会員

東京に出張で帝国ホテルに泊まりました。東京ロータリーの例会をしていましたが、メーカーに参加する自信がありませんでした。折角のチャンスを逃しました。

沖 知也 会員

小島先生、佐々木様、本日は名古屋アイスロータリークラブの例会出席ありがとうございます。また、おもちゃや本のセレクトでは看護師様、スタッフの皆様にはお手数をお掛けしました。当 RC では、名古屋大学医学部附属病院小児内科様への継続的支

援を考えていますので、今後とも宜しくお願ひします。

加藤晴美 会員

6/12（金）ゴルフコンペ初参加させていただきました。楽しい一日でした。ありがとうございました。

鬼頭容子 会員

久しぶりに名古屋出張の東京の友人に会いました。当ホテルのエレベーターホールから、熱田神宮の花火を観ました。

■ 幹事報告

1. ネパール地震災害支援金 アイリスとして、72,000円集まりました。ありがとうございました。
2. 次回例会卓話者 荒山久美会長

■ 2015-2016 ガバナー補佐・名古屋北RC 藤田義明様 ご挨拶

2015-2016 東名古屋分区のガバナー補佐を務められる藤田様より、この秋に予定されている①ガバナー訪問、②ふれあいフェスタ、に関するご案内とご挨拶をいただきました。



■ 会長挨拶

梅雨まっただ中のうっとうしい毎日です。各地で異常気象をもたらす竜巻やダウンバーストなどの被害のニュースを見て、昔からこんなに多くの頻度で発生していたのか首を傾げたくになります。通信網の急速な発達によって必要以上の情報が私達に与えられるようになったため、多く感じるよ

うになったのか。温暖化などが起因して日本国内にも本当に多くの自然災害が起きるようになってしまったのか一度確認してみたくになりました。

さて、本日はゲストとして名古屋大学医学部附属病院から、小島勢二（せいじ）医学部教授と医療環境の中にいる子供たちを支援されているチャイルドライフスペシャリストの佐々木美和様をお招き致しました。今年度中に間に合うのかとひやひやしておりましたが、沖会員とご家族のご尽力で本当に迅速に行動していただき、何とか本日の目録贈呈となりました。当クラブが設立されてから2回目の社会奉仕活動となりました。1回目は野田会員を通じて鶴舞図書館内の点訳ボランティア団体へパソコン3台を寄贈できました。今年度は小児科で長期入院されて、病魔と闘っている子供たちへの癒しの品として30万円相当の書籍、玩具等を贈ることができました。当クラブも徐々に進化しておりまして、今後は財団からの資金も利用して更なる社会奉仕ができるものと信じております。

■ 目録贈呈

名古屋大学大学院医学研究科小児科教授・医学博士 小島勢二様、同大学医学部附属病院小児内科病棟チャイルド・ライフ・スペシャリスト 佐々木美和様に対し、荒山会長から、当クラブが社会奉仕活動として同病院小児内科病棟に寄贈した図書、おもちゃ等の目録の贈呈が行われました。



■ 名古屋大学大学院医学研究科小児科教授・医学博士 小島勢二様 ご挨拶 (要旨)

先程、荒山会長より、アイリスRCが、地域に根ざした活動を行っている、という話をお聞きしました。名大病院小児科も、まさに、金山周辺、あるいは名古屋市という地域において重要な役割を担っていると考えていますので、この機会に、当病院小児科について、少し、知っていただければ、と思い、お話をさせていただきます。

- ① 名大病院小児科は、赤ん坊から高校生までを対象としていますが、その特徴としては、小児がんの患者が80～90%を占めていることです。
- ② 小児がんは、大人(成人)のがんとは、発生部位などが全く異なります。小児がんは、白血病が多く、また、早期発見が困難であり、進行例が多くなります。



小児がんは、希な病気ではありますが、そもそも、子供の死亡率が低下した現代では、不慮の事故に次ぐ、子供の死亡原因となっている、という点で、その治療に取り組むべき重要な病気といえます。

- ③ 国は、「小児がん拠点病院の整備について」平成24年9月7日健康局長通知により、小児がん拠点病院を募集し、15の病院が選定されました。名大病院小児科は、その拠点病院の一つです。

名大病院は、同拠点病院に対する評価において、最高点を獲得するなど、患者数、研究、施設などが高く評価されています。特に、新規治療法の開発には力を入れており、国際学会でも高く評価されています。

- ④ 小児がんの予後の改善はめざましいものがあり、

例えば、世界各国における小児急性リンパ性白血病の治療成績をみますと、2005-2009の5年生存率は、北米(カナダ、米国)、ヨーロッパ各国では、90%近くになっていますが、残念ながら、日本では、まだ、80%前後となっています。

海外で開発された治療法が日本では出来ないものもあり、そうした新しい治療を受けるために、渡航を望まれる患者のご家族もいらっしゃると思いますが、海外の病院側の受入体制、費用等、容易なことではありません。

私達も、より効果的な治療法を求めて、日々研究に励んでいます。研究費、あるいは、マンパワーの面など、まだまだ、アメリカの小児病院に遠く及ばない厳しい条件下にもあります。

そうしたアメリカの小児病院の財務をみてみますと、その収入の60%以上が「寄付」であることもあります。アメリカの文化、と言ってしまうまでもありますが、私たちも、地域に対して、私たちの活動をもっと発信していくことも必要ではないか、とも感じています。

本日は、このような貴重な機会をいただき、ご傾聴ありがとうございました。

【日々、困難な治療にご尽力され、時として、厳しい経過を家族に告げなければならないことがあることに言及されたとき、言葉を詰まらせていらっしやうったご様子は、胸に迫るものがありました。貴重なお話をありがとうございました。】